



2023年8月30日

報道関係者各位

慶應義塾大学

無料オンライン講座 FutureLearn — 慶應義塾大学公開のコースの登録者 10 万人を達成 —

慶應義塾大学がオープンオンライン教育プラットフォーム (MOOC) FutureLearn にて配信するコースの登録者が累計 10 万人を突破しました。

FutureLearn は 2012 年に設立された、ソーシャルラーニング-学習者同士の学び合いを重視している英国発のオープンオンライン教育プラットフォームです。全世界から 1800 万人以上 (2023 年現在) の学習者が登録・受講しています。慶應義塾大学は 2015 年から日本で唯一 FutureLearn に参加し、2023 年 8 月現在 11 コースを英語・日本語の 2 か国語 (一部除く) で公開しています。

1. 慶應義塾が FutureLearn に参加する意義

慶應義塾では「多様なメディア・学修形態を活用した教育・学修プログラムの社会的発信を推進すること」をミッションの 1 つに掲げており、2015 年からグローバルなオープンオンライン教育プラットフォームである FutureLearn に参加しています。FutureLearn は、コース登録・受講はすべて無料であり、有料で修了証の取得、期間終了後の受講継続ができます。

慶應義塾大学 FutureLearn プロジェクトは、「大学の知の発信と社会貢献」「大学の先進的な教育手法の開発、教育力の向上」「大学のグローバル化の推進」をミッションに、コース開発、運用を行ってきました。

Keio FutureLearn のミッション Mission of Keio FutureLearn

1

大学の知の発信と社会貢献

Disseminating University Knowledge
and Contributing to Society

2

大学の先進的な教育手法の開発、教育力の向上

Development of advanced educational methods and
improvement of educational capabilities at Keio Univ.

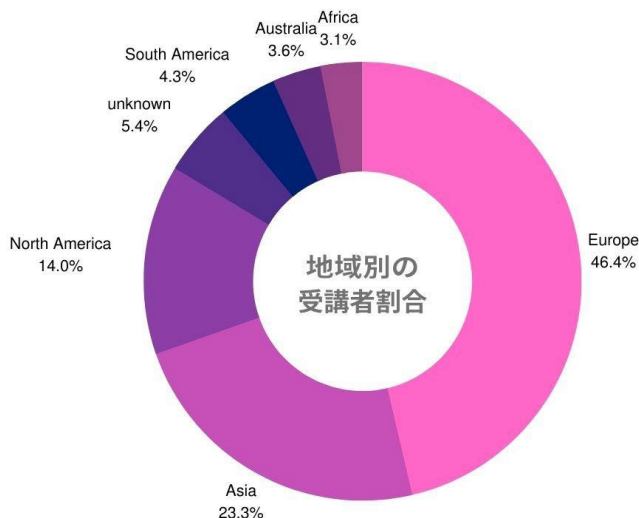
3

大学のグローバル化の推進

Promotion of University Globalization

2. FutureLearn での取り組みの成果

2023年現在、11コースを英語・日本語の2か国語（一部除く）で公開しており、すべて無料で常時受講開始することができます。慶應義塾の各学部・研究所が所有する貴重書や芸術作品等のアーカイブ、研究を通じた日本文化を世界に発信するコースを公開し、主にヨーロッパ、アジア、北米圏を中心に多様な地域から受講者を獲得しました（右グラフ）。日本文化の中でも慶應義塾ならではの専門的、かつ特色ある分野を扱っている中で、10万人という多くの支持を得ることができたことは大きな成果であると言えます。



2022年に開講した「**Travelling Books: History in Europe and Japan**（旅する書物：日本とヨーロッパの歴史のなかで）」は、貴重資料を豊富に有する大英図書館との共同制作により実現しました。アジアで唯一グーテンベルク42行聖書を所蔵し、インキュナブラ（初期活字本）、和漢書の研究や保管などにおいて高い評価を受ける慶應義塾にとって、非常に意義のある研究成果発信となりました。

また、コース開発の実践から得た知見は、よりよい Learning Design のための研究や授業への利活用に積極的に取り入れられています。例えば、2020年開講の「**Methodologies for Service Design**（サービスデザインことはじめ）」は、大学院メディアデザイン研究科にて、授業の履修学生が FutureLearn のコースに登録して各自でオンライン学習を行いながら並行して授業に参加する、「Blended Learning（ブレンド型学習）」の実践として設計されました。2023年からは「**Understanding Quantum Computers**（量子コンピュータ入門）」が、南洋理工大学（Nanyang Technological University シンガポール国立、QS世界大学ランキング26位（2024年版））の単位互換認定科目の一つに選定されるなど、大学を越えた活用も進んでいます。「Understanding the Internet」はアジア各国の大学生対象インターネット技術者育成プログラム（APIE Program）の必修科目としても利用されています。

また、コース開発の実践から得た知見は、よりよい Learning Design のための研究や授業への利活用に積極的に取り入れられています。例えば、2020年開講の「**Methodologies for Service Design**（サービスデザインことはじめ）」は、大学院メディアデザイン研究科にて、授業の履修学生が FutureLearn のコースに登録して各自でオンライン学習を行いながら並行して授業に参加する、「Blended Learning（ブレンド型学習）」の実践として設計されました。2023年からは「**Understanding Quantum Computers**（量子コンピュータ入門）」が、南洋理工大学（Nanyang Technological University シンガポール国立、QS世界大学ランキング26位（2024年版））の単位互換認定科目の一つに選定されるなど、大学を越えた活用も進んでいます。「Understanding the Internet」はアジア各国の大学生対象インターネット技術者育成プログラム（APIE Program）の必修科目としても利用されています。

3. 今後の展開

2023年度以降も、新コースを開発・公開予定です。直近の新規コースは下記の通りです。

【2023年新規開講】

Understanding the Internet

<https://www.fl-keio.info/intro/?p=1642>

IPアドレスからデジタルデータまで、インターネットに不可欠な要素を探る

開講言語：英語

講師：村井 純（慶應義塾大学サイバー文明研究センター）

ナビゲーター：Korry Luke（大学院 政策・メディア研究科 後期博士課程）

【2023年開講予定】

Akichi in Collections Management: Perspectives from a Japanese University Museum

<https://www.fl-keio.info/intro/?p=1778>

9月18日 開講予定・受講者受付中

コレクション・マネジメントの新たなアプローチを見つけよう！

開講言語：英語

講師：渡部 葉子、本間 友、長谷川 紫穂、宮北剛己（慶應義塾ミュージアム・コモンズ）

日本の近代化: 福澤諭吉の格闘

<https://www.fl-keio.info/intro/?p=1462>

10月開講予定・受講者受付中

福澤諭吉の格闘を通して、我々が求めるべき「文明」とは何かを考えよう

開講言語：日本語、英語（日本語版を先行公開予定）

講師：山内慶太、都倉武之（慶應義塾福澤研究センター）

■参考

FutureLearn 公式サイト：<https://www.futurelearn.com/>

公式サイト内の慶應義塾大学紹介ページ：<https://www.futurelearn.com/partners/keio-university>

慶應義塾大学 FutureLearn WEB サイト（日本語）：<https://www.fl-keio.info/intro/>

慶應義塾大学 FutureLearn X（旧 Twitter）：https://twitter.com/Keio_FL

※ご取材の際には、事前に下記までご一報くださいますようお願い申し上げます。

※本リリースは文部科学記者会、各社社会部、文化部等に送信させていただいております。

本発表資料のお問い合わせ先

慶應義塾広報室（豊田）

TEL：03-5427-1541 FAX：03-5441-7640

Email：m-pr@adst.keio.ac.jp <https://www.keio.ac.jp/>